

平成30年度事業計画

《概要》

北九州市においては、『元気発進！北九州プラン』の中で、暮らしを彩るため、「生活に根つき、誇れる文化・スポーツの振興」を目標に掲げ、芸術・文化の振興を図ることとしている。

これを受けて当財団は、市民の多様な芸術文化ニーズに対応し、優れた芸術文化に接する機会を提供すること、芸術文化を通して青少年の育成をはかること、市内外に向けて芸術文化情報の発信に努めることなど、様々な公演事業や育成事業、情報提供事業等を実施し、芸術文化の振興と芸術文化を核としたまちづくりを目指していく。

また、併せて北九州芸術劇場等の芸術文化施設の管理運営、並びに文化財保護法に基づいた埋蔵文化財の発掘調査を行う。

さらに、文化に関する情報提供機能を再編し、広域かつ幅広い層への情報発信を行い、地域文化の振興への寄与を高めていくこととする。

I 文化創造事業の実施

平成26年度から5年間の指定管理者となっている北九州芸術劇場、北九州市立響ホール、北九州市立大手町練習場の3つの芸術文化施設について、管理運営を行う。

これら3施設については、

① 北九州芸術劇場と響ホールを北九州地域の舞台芸術・音楽文化の拠点施設

② 大手町練習場は両施設の補完、及び市民の芸術文化活動の支援施設

と位置づけ、舞台芸術については「創る」「育つ」「観る」「支える」、音楽文化については「創る」「育つ」「聴く」「支える」をコンセプトとし、これらに沿った事業を推進していくとともに、市民の文化活動の支援など、地元に着した事業運営と芸術文化情報の収集・提供を行っていく。

また、北九州市からの指定管理事業として、市民の多様な芸術文化ニーズに対応した公演事業や育成事業を実施し、芸術文化の振興に寄与する。

1 舞台芸術の振興

市民に、より良質な芸術文化を提供するため、財団が管理する北九州芸術劇場を利用して積極的な事業を展開し、芸術文化の振興に寄与する。

(1) 創造事業

北九州芸術劇場オリジナルの舞台芸術作品を製作し、公演を実施する。

事業名	時期・場所等	内容等
北九州芸術劇場プロデュース ／市民参加企画 合唱物語 「わたしの青い鳥 2018」	[公演] 北九州芸術劇場中劇場 7月 1日(日) 1公演 [コーラス・ワークショップ] 北九州芸術劇場小劇場・創造 工房ほか 5月11日(金) ～6月30日(土) 全14回	市民参加型創造事業。メーテルリンクの「青い鳥」を原作にオリジナルの曲と詞を作り、市民参加の合唱と朗読で物語をすすめていく。本番を含む15回のワークショップを実施し、作品には参加者の自分史や幸福感を取り込み、さらに公演では来場者にも幸福感をインタビューし、会場一体となって幸せ探しをする。平成16年度から毎年続いて15回目の開催。
北九州芸術劇場 ＋市民共同創作リーディング 「Re:北九州の記憶」	北九州芸術劇場小劇場 [取材・調査] 平成29年10月～ (29年度からの継続事業) [戯曲講座] 平成30年4月～ [リーディング公演] 北九州芸術劇場小劇場 10月 2公演	平成24年度からはじまり7年目を迎える事業で、北九州地域に暮らす人の歴史(記憶)を「北九州の歴史」として振り返り、未来へ継承することを目的に実施している。
北九州芸術劇場 創造作品 「タイトル未定(新作)」	北九州芸術劇場小劇場 11月29日(木) ～12月2日(日) 6公演	「九州」をモチーフに、九州出身の劇作家・演出家が、九州出身の俳優とともに作品を創作・上演する。九州という風土が醸し出す土着的な空気や地域性を意識しながら、そこで暮らす人、そこから出て行った人の視点や思いを作品に反映させることで、地域住民がそれぞれ持つ潜在的な「九州らしさ」を掘り起こし、新しい気付きを喚起するとともに、地方の劇場で創作したオリジナル作品として発信していく。 【作・演出】田上豊(田上パル) 【出演】九州出身の男性俳優

<p>北九州芸術劇場×山海塾 共同プロデュース 山海塾「新作(タイトル未定)」 ワールドプレミア</p>	<p>北九州芸術劇場中劇場 3月23日(土)～24日(日) 2公演</p>	<p>世界各国で極めて高い評価を得ている舞踏カンパニー・山海塾の新作。これまでパリ市立劇場等との共同プロデュースにより新作公演を行ってきた。今回は、「時のなかの時-とき」「降りくるものの中で-とばり」「二つの流れ-から・み」「歴史いぜんの記憶-うむすな」「海の賑わい陸(おか)の静寂-めぐり」に続き6作目となる新作を共同プロデュースし、北九州芸術劇場でワールドプレミア(世界初演)を迎える。 【演出・振付・デザイン】天児牛大</p>
--	---	--

(2) 学芸事業

舞台芸術の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献する。

事業名	時期・場所等	内容等
<p>高校生〔的〕シアター</p>	<p>北九州芸術劇場 大ホール・小劇場・創造工房 ほか [戯曲講座] 6月～7月 [夏季ゼミ・モギテク] 8月 [ワークショップ] 8月・12月 [チケット優待] 通年</p>	<p>北九州地域の高校生に演劇を体験(ワークショップ・鑑賞)してもらい、未来の演劇人や観客の創出、また高校演劇部のレベルアップを図る。 戯曲講座、夏期ゼミ・モギテク、ワークショップ、チケット優待、作品制作等を予定。</p>
<p>シアターラボ2019</p>	<p>北九州芸術劇場創造工房 ほか 6月～3月</p>	<p>劇作家や演出家、更には劇団の結成等、次世代のリーダーの育成を目的として、劇場オープンから継続して取り組んでいる事業。戯曲講座を重ね、稽古場でのリーディング公演の上演を目指す。</p>
<p>演カツ！！</p>	<p>北九州芸術劇場創造工房 6月</p>	<p>地域舞台人の新たな表現活動への取り組みや、様々な知識・ノウハウの獲得を目指し、創造工房内稽古場での作品の上演及び企画を実施する。</p>
<p>キタQ アーティスト ふれあいプログラム</p>	<p>北九州市内小・中学校ほか 6月～3月</p>	<p>第一線で活躍するアーティストによる市内の小中学校等でのアウトリーチ。未来を担う子どもたちがアーティストとふれあう機会を作ることで、想像力や表現力を育み、創造性や個性を伸ばす手助けとなることを目指す。</p>

ひとまち+アーツ協働事業	北九州芸術劇場・市内施設 ほか 6月～3月	地域で活動する多様な領域の団体・機関などとの協働事業。演劇・ダンス等のアーティストとともに、高齢者・若者・福祉など様々な分野でのワークショップを行う。
夏休み！子どもの劇場体験 2018	北九州芸術劇場小劇場ほか 7月29日(日) ～8月2日(木)	地元の若手演劇人や劇場スタッフを講師に小学生を対象とした2つのワークショップを実施する。 ①職場体験コース ②演劇体験コース
劇場塾 2018	北九州芸術劇場創造工房 ほか ① 10月 ②通年	市民や公共ホール等で舞台芸術に携わるスタッフ等を対象に、専門家によるレクチャーを開催し、地域で文化・芸術の振興を担う人材育成と公共ホール間等のネットワークの形成を図る。 ①研修クラス ②オープンレクチャー
東筑紫学園高等学校演劇類型との連携事業	北九州芸術劇場創造工房、 東筑紫学園高等学校ほか 通年	全国でも数少ない普通科演劇類型を有する東筑紫学園高等学校にて、劇場のノウハウを活用した演劇人育成に資する授業を行う。
地域のアートレパトリリー 創造事業	北九州市内 通年	地域の企業や商店街等と共同したダンスプロジェクト等を下記の通り実施。芸術を通じた北九州市内の企業イメージの向上、ダンスを通じた地域課題の解決、コミュニケーションの活性化や健康づくりの促進を図る。
市民劇場文化サポーター 育成事業	北九州芸術劇場大ホール ほか 通年	「劇場文化サポーター」を文字通り“劇場文化を応援する人たち”と位置づけ、市民がさまざまに劇場と関わりを結び、その活動がサポーター自身の生きがいや誇りに繋がること、さらに劇場や劇場文化への愛着の気持ちを育み、その輪を身近な人たちに広げていくことを目指す。 ①劇場支援活動 （情報発信、事業サポート等） ②劇場・舞台芸術全般に関する講座の実施 （劇場について、舞台芸術について、劇場運営に係る仕事について等） ③劇場事業に関する勉強会等の実施 （月1回のミーティング、劇場バックステージツアー、稽古見学、記者会見参加等）

(3)公演事業

市民により良質な舞台芸術を提供する。

事業名	場所・時期等	内容等
新国立劇場作品 「赤道の下のマクベス」	北九州芸術劇場中劇場 4月15日(日) 1公演	【作】鄭義信 【出演】池内博之、平田満ほか
「寿歌」	北九州芸術劇場小劇場 5月26日(土)～27日(日) 2公演	【作】北村想 【演出】宮城聡 【出演】SPAC/奥野晃土、春日井一平、たきいみき
フィリップ・ドゥクフレ カンパニーDCA 「新作短編集(2017)－ Nouvelles Pièces Courtes」	北九州芸術劇場中劇場 7月7日(土)～8日(日) 2公演	【演出・振付】フィリップ・ドゥクフレ 【出演】カンパニーDCA
「劇トツ×20分」2018	北九州芸術劇場小劇場 7月8日(日) 1公演	平成28年度「劇トツ×20分」の最優秀劇団が防衛戦として出場し、他4劇団を公募、計5劇団が、短編の演劇作品(20分、登場人物3人まで)を連続上演し、審査員と観客投票により優秀作品を決める。
大人も一緒に子どもたちの劇場シリーズ2018 - 海外編 - 「White(原題)」	北九州芸術劇場小劇場 7月20日(金)～22日(日) 5公演	小さな子どもから大人まで楽しめる、選りすぐりの世界の作品を上演。
シアターサーカス 「MACHINE DE CIRQUE マシーン・ド・シルク」	北九州芸術劇場中劇場 8月2日(木) 1公演	サーカス文化の本場、カナダ・ケベック州で誕生した劇場型サーカス。
不思議の国のアリス	北九州芸術劇場中劇場 舞台上 8月11日(土・祝)～12日(日)	【演出・振付・出演】森山開次 【原作】ルイス・キャロル 【テキスト】三浦直之
二兎社 「ザ・空気 ver.2 誰も書いてはならぬ」	北九州芸術劇場中劇場 8月25日(土)～26日(日) 2公演	【作・演出】永井愛 【出演】安田成美、眞島秀和、馬淵英里何、柳下大、松尾貴史
ダンスダイブウィーク	北九州芸術劇場小劇場ほか 9月17日(月・祝) ～9月30日(日)	コンテンポラリーダンスを広く市民に普及するために、ショーケース公演、ワークショップ、街なかでのプロジェクトなど、多角的なプログラムを企画実施する。
「チルドレン」	北九州芸術劇場中劇場 10月	【演出】栗山民也

NODA・MAP 「タイトル未定」	北九州芸術劇場大ホール 10月	【作・演出】野田秀樹
「ネズミとぼた餅～水木しげるの世界に寄せて～ (仮)」	北九州芸術劇場大ホール 11月17日(土)～18日(日)	【作・演出】前川知大
KERA・MAP 「タイトル未定」	北九州芸術劇場中劇場 11月30日(金) ～12月2日(日)	【作・演出】 ケラリーノ・サンドロヴィッチ
カンパニー・デラシネラ 「ドン・キホーテ」	北九州市立美術館本館 1階ロビー 12月	【作・演出】小野寺修二 【出演】カンパニーデラシネラ
ストップギャップ ダンス カンパニー公演 Stopgap Dance Company	北九州芸術劇場小劇場 3月17日(日)	学習障がいや身体障がいを持つ人もメンバーとして参加する、英国を代表するダンスカンパニーによる公演。

(4) 提携・共催・協力事業

事業名	場所・時期等	内容等
MONO 「隣の芝生も。」	北九州芸術劇場小劇場 4月7日(土)～8日(日) 3公演	【作・演出】土田英生
「ハンクマン」	北九州芸術劇場中劇場 6月	【作・演出】長塚圭史
ゴジゲン「君が君で君だ」	北九州芸術劇場小劇場 10月	【作・演出】松居大悟
南河内万歳一座	北九州芸術劇場小劇場 3月	【作・演出】内藤裕敬
小林賢太郎作品	北九州芸術劇場中劇場 3月	未定

(5)北九州舞台芸術フェスティバル

多様な芸術の波及力を活用して「舞台芸術の街・北九州」を内外にアピールし、「文化の薫るまちづくり」の一翼を担う。

事業名	場所・時期等	内容等
北九州舞台芸術フェスティバル 「北九州芸術工業地帯」	北九州芸術劇場小劇場 ほか 通年	北九州市内を舞台に、『演劇』・『音楽』・『ダンス』などのプログラムを開催。劇場やホールに足を運ぶのはまた一味違った「日常の生活」と「芸術」を繋ぐ『新たな回路』と出会う機会を設ける。

(6)支援事業

大ホール・中劇場・小劇場の各施設利用者に対して、「提案する劇場」をモットーに経験豊富なスタッフがアドバイスを行い、市民の文化活動を支援するほか、地元劇団等の地域での作品創造や上演の環境づくりを支援する事業も実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
シアターラボ2019 ＜再掲＞	(2) 学芸事業 参照	
「劇トツ×20分」2018 ＜再掲＞	(3) 公演事業 参照	
ダンスダイブウィーク ＜再掲＞	(3) 公演事業 参照	
北九州舞台芸術フェスティバル 「北九州芸術工業地帯」 ＜再掲＞	(5) 北九州舞台芸術フェスティバル 参照	

(7) 地域文化振興事業(受託事業)

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
第48回 北九州市ファミリー劇場 一角笛シルエット劇場一	各市民会館 北九州芸術劇場大ホール 5月21日(月) ～5月28日(月) 7公演	劇団角笛による子ども向けシルエット劇。幼い頃から舞台芸術に親しんでもらうため、幼児・親子が楽しめる良質な観劇の機会を提供する。
人形浄瑠璃「文楽」	戸畑市民会館大ホール 3月7日(木) 2公演	ユネスコの世界無形文化遺産に登録された日本の伝統芸能である「文楽」の公演。

2 音楽文化の振興

市民に、より良質な芸術文化を提供するため、財団が管理する響ホールを中心として積極的な事業を展開し、芸術文化の振興に寄与する。

(1) 響ホール事業

ア 創造事業

響ホールオリジナルのコンサートを制作し、公演を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
響ホール 25th YAHATA MUSIC PROJECT 響ホールフェスティバル 2018	Summer ①市内施設等 地域訪問コンサート等 5月～ ②響ホール 本公演 6月23日(土)・24日(日) Winter ①市内施設等 ワークショップ等 12月～	本市を活動拠点とする響ホール室内合奏団と響ホールの共同企画による2日間の公演の他、近隣の大学や企業等と連携し、地域でワークショップや地域コンサートなどを実施する。公演1日目は0歳から親子で楽しめる室内楽。公演2日目はオペレッタ「こうもり」短縮版を制作し、上演する。【脚本：泊篤志】
響ホール 25th 実験的音楽空間～大学生と創る新たな表現活動～	①市内施設等 地域訪問コンサート ②響ホール アナリーゼ・ワークショップ 1月～2月	大学生とアーティストが現代音楽・クラシック音楽、ダンス、舞台照明により新たな舞台作品を創作。 【出演者】ENSENBLE NOMAD

イ 響ホール公演事業

音楽専用ホールである響ホールの特性を生かし、質の高い音楽鑑賞の機会を提供する。

事業名	場所・時期等	内容等
響ホール 25th 石坂団十郎(チェロ) 小菅優(ピアノ)	①市内施設等 地域訪問コンサート 6月8日(金) ②響ホール 本公演 6月9日(土)	ドイツ居住、ドレスデン音楽大学教授であるチェロ奏者石坂団十郎が、稀少なチェロのストラディヴァリウス(日本音楽財団貸与)でお届けするコンサート。ピアニストは小菅優。ベートーヴェンをテーマに演奏。
響ホール 25th 川久保賜紀(ヴァイオリン) 遠藤真理(チェロ) 三浦友里枝(ピアノ)	①市内施設等 地域訪問コンサート 8月22日(水)・23日(木) ②響ホール アナリーゼ・ワークショップ 9月7日(金) 本公演 9月8日(土)	実力派女性トリオ。それぞれ独自に活躍を続ける3人の女性アーティストによるピアノ・トリオ。本公演を行うほか、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、川久保賜紀による地域訪問コンサートを実施する。また、アナリーゼ・ワークショップ(楽曲解説)をあわせて行い、クラシック音楽の理解を深めるための活動も行う。

<p>響ホール 25th</p> <p>南紫音 ヴァイオリン・リサイタル</p>	<p>①市内施設等 地域訪問コンサート 9月26日(水)・27日(木) ②響ホール 本公演 12月1日(土)</p>	<p>北九州市出身の南紫音。本公演を行う他、25周年を記念して、シビックプライドの醸成とクラシック音楽の裾野拡大のため、金子三勇士とともに、小中学生や地域住民を対象とした地域訪問コンサートを実施する。</p>
<p>響ホール 25th</p> <p>調整中(ヴァイオリン) 新倉瞳(チェロ) 佐藤卓史(ピアノ)</p>	<p>①市内施設等 地域訪問コンサート 11月13日(火)・14日(水) ②響ホール アナリーゼ・ワークショップ 1月26日(土) 本公演 1月27日(日)</p>	<p>若手ソリスト3人によるピアノ・トリオ。本公演を行うほか、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、地域住民を対象とした地域訪問コンサートを実施する。また、アナリーゼ・ワークショップ(楽曲解説)をあわせて行い、クラシック音楽の理解を深めるための活動も行う。</p>
<p>響ホール 25th</p> <p>金子三勇士 ピアノ・リサイタル</p>	<p>①市内施設等 地域訪問コンサート 1月17日(木)・18日(金) ②響ホール アナリーゼ・ワークショップ 2月15日(金) 本公演 2月16日(土)</p>	<p>響ホールレジデントアーティストとして3年連続の登場。本公演を行うほか、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、地域住民を対象とした地域訪問コンサートを前年度に引き続き、実施する。また、ピアノからしばらく遠ざかっている働く世代が、再度、楽器に触れるきっかけをつくるワークショップを実施する。</p>
<p>響ホール 25th</p> <p>国内プロオーケストラメンバーによるアンサンブルコンサート</p>	<p>①市内施設等 地域訪問コンサート ②響ホール アナリーゼ・ワークショップ 本公演 2~3月</p>	<p>国内プロオーケストラメンバーによるアンサンブルコンサート。本公演を行うほか、クラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、地域住民を対象とした地域訪問コンサートを実施する。また、アナリーゼ・ワークショップ(楽曲解説)をあわせて行い、クラシック音楽の理解を深めるための活動も行う。</p>
<p>響ホール 25th</p> <p>ワンコイン・コンサート</p> <p>①川越塔子(ソプラノ) ②松本蘭(ヴァイオリン) ③浜まゆみ(マリンバ) ④KOTO×KOTO(琴) ⑤岩崎洵奈(ピアノ) ⑥ハープコンサート</p>	<p><地域訪問コンサート> 市内施設等 ①5月17日(木) ②7月19日(木) ④10月23日(火) ⑤1月8日(火) <ワンコイン・コンサート> 響ホール ①5月18日(金) ②7月20日(金) ③8月8日(水) ④10月24日(水) ⑤1月9日(水) ⑥2月</p>	<p>平日(昼)の響ホールを活用し、トークを交えた短時間のワンコイン・コンサートを実施。新たな顧客層の開拓を目的に、クラシック音楽の魅力を伝える。また本事業を通じ、本格的なクラシック音楽を聴くことができる響ホールのPRを行う。 ①・②・④・⑤については、響ホールの認知度の向上とクラシック音楽愛好家の裾野拡大を目指すため、地域住民を対象とした地域訪問コンサートを実施する。</p>
<p>響ホール 25th</p> <p>0歳からの親子で楽しむクラシックコンサート</p>	<p>①市内幼稚園・保育所他 地域訪問コンサート 10月 ②響ホール 12月22日(土)</p>	<p>クリスマスに、0歳から親子で楽しめるクラシックコンサートを企画。子どもたちに生演奏の魅力を伝えるため、ピアニストの新居由佳梨が制作協力。</p>

響ホール 25th マイスター・アールト×ライジング グスターオーケストラ	響ホール 11月23日(金・祝)	響ホール開館25周年を記念して、北九州国際音楽祭と協働により、公演を行う。 (2)北九州国際音楽祭事業 ア 有料プログラム 参照
まちの小さな演奏会	市内施設	市民文化奨励賞・文化賞受賞者による演奏会を実施する。(年2回)

ウ 育成事業

音楽の手法を用い、人材育成・教育普及事業を実施し地域に貢献するとともに、地域の音楽文化の担い手の育成・継承を行う。

事業名	場所・時期等	内容等
音楽アウトリーチ事業	随時 市内小学校ほか	登録OBアーティストによる、小学校等へのアウトリーチ事業を実施する。
芸術文化鑑賞事業	随時 市内小学校	北九州市市民文化賞及び奨励賞受賞者による小学校での訪問コンサートを実施する。
北九州市少年少女合唱団 育成事業	練習 毎週土曜日 14時から 戸畑市民会館ほか 第44回定期演奏会 12月16日(日) 戸畑市民会館	合唱団の活動を通じて、団員の合唱技術や音楽性の向上に努め、情緒豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図る。
北九州市ジュニアオーケストラ 育成事業	・練習 月3回 日曜日 ・第36回定期演奏会 北九州芸術劇場大ホール 8月26日(日) ・第22回スプリングコンサート 北九州芸術劇場大ホール 3月31日(日)	オーケストラ活動を通じて、団員の演奏技術や音楽性の向上に努め、情操豊かな青少年の育成及び市民文化の向上を図る。
第42回北九州少年少女合唱祭	戸畑市民会館大ホール 7月1日(日)	市内及び近郊の少年少女合唱団9団体による合唱の祭典。

小・中学校合唱講習会	響ホール 7月24日(火)～26日 (木)	北九州市小学校音楽教育研究会、北九州市中学校音楽教育研究会、福岡県合唱連盟と共催し、小中学生ための合唱講習会を実施。
合唱組曲「北九州」公演	アルモニーサンク 北九州ソレイユホール 3月10日(日)	ふるさと讃歌である合唱組曲「北九州」の演奏会を実施する。 出演：北九州をうたう会、市内少年少女合唱団、市内中学・高校合唱部、北九州交響楽団、小倉祇園太鼓ほか
第42回北九州市レディースコーラス・フェスティバル	響ホール 3月	市内及び近郊の女声合唱グループ約50団体が出演する合唱の祭典。
アーツスタッフ養成講座	響ホール 年3回	地域で音楽文化の振興を担う人材育成を図る。 第1回は、北九州国際音楽祭との連携により実施。 (2) 北九州国際音楽祭事業 ウ 特別プログラム参照
ハーブ研究会	響ホール 練習：月2回(40分/回)	ハーブに興味を持つ市民に対し、ハーブ演奏を学ぶ機会を提供することを目的として実施する。
チェンバロ教室	響ホール 練習：月2回(40分/回)	響ホールのチェンバロを市民に広く周知するとともに、チェンバロ演奏を学ぶ機会を市民に提供することを目的として実施する。

エ 支援事業

市民による文化活動発表の場の提供や、市民や地域の演奏家の活動を支援し、地域文化の振興を図る。

事業名	場所・時期等	内容等
第42回北九州少年少女合唱祭 ＜再掲＞	戸畑市民会館大ホール 7月1日(日)	ウ 育成事業 参照
第42回北九州市レディースコーラス・フェスティバル ＜再掲＞	響ホール 3月	ウ 育成事業 参照
響ホールお迎えバス	響ホール 通年	貸館時に、八幡駅発のお迎えバス(9人乗り)を運行し、響ホールの立地の改善を図る。(主催者一部負担3,000円)

オ 地域文化振興事業(受託事業)

市民が優れた芸術文化に接する機会を提供するために公演事業を実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
合唱組曲「北九州」公演 <再掲>	アルモニーサンク 北九州ソレイユホール 3月10日(日)	ウ 育成事業 参照

(2) 北九州国際音楽祭事業

ア 有料プログラム

事業名	場所・時期等	内容等
2018 北九州国際音楽祭 竹澤恭子[ヴァイオリン] 原田禎夫[チェロ] 萩原麻未[ピアノ]	響ホール 10月13日(土)	世界のトップシーンで活躍する竹澤恭子らによるオリジナル ピアノ・トリオを編成。本音楽祭でしか聴けないオープニング・プログラムとして実施する。
2018 北九州国際音楽祭 チック・コリア[ジャズピアノ]	響ホール 10月18日(木)	世界最高峰の人気ジャズピアニストによるリサイタル演奏会。国際的に幅広い聴衆から支持を受けるコリア氏を招聘することで、本音楽祭及び響ホールの認知度を高め、本市の活性化も期待するもの。
2018 北九州国際音楽祭 サロン・コンサート (楽器・出演者調整中)	西日本工業倶楽部 10月	響ホールが所蔵する楽器(チェンバロまたはハープ)を国指定重要文化財である西日本工業倶楽部に持ち込み演奏会を実施する。
2018 北九州国際音楽祭 アートミュージアム・コンサート (楽器・出演者調整中)	北九州市立美術館(本館) 10月	響ホールが所蔵する楽器(チェンバロまたはハープ)を北九州市立美術館(本館)に持ち込み演奏会を実施。美術館での展覧会と関連付けた曲目の演奏やトークを実施。
2018 北九州国際音楽祭 諏訪内晶子[ヴァイオリン] 金子陽子[ピアノ]	響ホール 10月28日(日)	来場者アンケートの聴きたい演奏家で毎年上位の諏訪内晶子を招いての待望のリサイタル。
2018 北九州国際音楽祭 ミッシェル・ダルベルト[ピアノ] ～ドビュッシーと葛飾北斎～	響ホール 11月10日(土)	北斎の絵画をスクリーンに投影し、北斎に感化されジャポニズムを最初に取り入れた西洋音楽家と言われるドビュッシー(没後100年)を聴くコンサート。
2018 北九州国際音楽祭 ユーリー・テミルカーノフ [音楽監督・首席指揮者] サトウハチロー・フィルハーモニー交響楽団 庄司紗矢香[ヴァイオリン]	アルモニーサンク 北九州ソレイユホール 11月18日(日)	ロシア最高峰で国際的評価も高い、ヨーロッパの伝統に裏付けされた楽団による北九州市内で唯一の海外オーケストラ公演。来場者による聴きたい演奏会の上位の庄司紗矢香をソリストに迎える。

2018 北九州国際音楽祭 マイスター・アールト×ライジ ングスターオーケストラ コンサートマスター/篠崎史紀、双紙正哉 [ヴァイオリン]、長哲也 [フ アゴット]、田中香織[クラリネ ット]ほか	響ホール 11月23日(金・祝)	響ホール開館 25 周年を記念し、北九 州国際音楽祭オリジナル・オーケスト ラにより、祝祭感あふれる内容を目指 す。
--	---------------------	---

イ 教育プログラム

未来を担う子どもたちに、音楽の素晴らしさを体験してもらい、情操豊かな人間形成の一助となることを目的に実施する。

事業名	場所・時期等	内容等
2018 北九州国際音楽祭 中学生の鑑賞教室1・2 竹澤恭子 [ヴァイオリン] 原田禎夫 [チェロ] 萩原麻未 [ピアノ]	響ホール 10月12日(金)	アンサンブルの鑑賞を主目的とする。 各楽器の音色や仕組みなど特徴をし り、異なった個性を持つ楽器が、どの ように合わさって1つの楽曲が成立 しているのかを体感する。 【教育委員会受託事業】
2018 北九州国際音楽祭 中学生の鑑賞教室3・4 ミッシェル・ダルベルト[ピ アノ] ～ドビュッシーと葛飾北斎～	響ホール 11月9日(金)	印象派の楽曲の鑑賞を主目的とする。 印象派が生まれた時代背景やそれま での音楽とどう違うのか、また日本と 作曲家たちの意外な繋がりなどを 知ること、より深く鑑賞できること を目指す。 【教育委員会受託事業】
2018 北九州国際音楽祭 小学生の鑑賞教室 マイスター・アールト×ライジ ングスター 木管アンサンブル	調整中	学校の音楽室での授業では学べない “生の音楽を聴く、体感する”ことを 主眼に、演奏者自身が児童たちに分 かりやすく、楽器や曲目の話しを交 え実施する。
2018 北九州国際音楽祭 幼稚園の訪問コンサート マイスター・アールト×ライジ ングスター 木管アンサンブル	調整中	間近で本物の音楽を体感してもら うため、幼稚園を訪問して実施す る。園児たちに楽器などのお話しを 交えるなどし、楽しく聴けるよう工 夫して進行する。

ウ 特別プログラム

広く市民が音楽に親しむ機会を提供し、公演事業では十分に行き届かない、普及、啓発、振興、教育などを担うプログラムとして展開する。

事業名	場所・時期等	内容等
2018 北九州国際音楽祭 アーツスタッフ養成講座シリ ーズ 第1回異業種に学ぶ 湊けい子[SfJCS 推進部担当部長] 田中雅敏[弁護士・弁理士] 松尾卓哉[CM プランナー]	響ホール・リハーサル室 5月10日(木)、11日(金)	異業種の専門家からノウハウを学 び、新たな視点からスタッフ一人ひと りが、自ら考え、業務を遂行できる 能力を身に着けるため、「CS 接遇& マナー」「知的財産権」「広報・宣 伝戦略」についてのレクチャーと実 技による講座。

2018 北九州国際音楽祭 楽しみかた聴きどころ講座	響ホール 6月	今年の音楽祭のラインナップをもとに、クラシック音楽の楽しみ方や聴きどころを、初心者の方にも楽しく、わかりやすく紹介する。
2018 北九州国際音楽祭 「音楽」と「文学」	文学サロン 9月～11月上旬	北九州文学サロン」と連携し、「文学と音楽」が持つ密接な関係性を焦点に、今年の演奏されるクラシック音楽作品等から関係する文学作品等を紹介する。
2018 北九州国際音楽祭 楽器が上手くなるひみつ	響ホール 調整中	国内外で活躍するトップ・アーティストが愛好者を対象にレッスンをを行い、その様子を一般に公開する。
2018 北九州国際音楽祭 まるっと Enjoy! 響ホールで夏休み 篠崎史紀[ヴァイオリン]他	響ホール 8月12日(日)	響ホールをより多くの市民に体験してもらい、クラシック音楽の魅力を普及するため、入場料は無料、3歳以上参加可能とし、鑑賞と体験の両方ができる企画を実施する。
2018 北九州国際音楽祭 病院訪問コンサート マイスター・アールト×ライジ ングスター木管アンサンブル	調整中	ホールへ来場することが困難な、入院患者やその家族、病院関係者を対象に、病院を訪問してのコンサートを実施。
2018 北九州国際音楽祭 オーケストラレクチャー&リ ハーサル見学 サカトパ・フィル・オーケストラ・交響楽 団	アルモニーサンク 北九州ソレイユホール (開場前)	より深く楽しく海外オーケストラのコンサートを聴くための、開演直前の専門家によるレクチャーとリハーサル見学を行う。
2018 北九州国際音楽祭 プレ・コンサート	響ホール 11月23日(金・祝) (開演前)	響ホールが得意とする室内楽普及と若手演奏家の経験の場の提供と紹介、またコンサート全体を盛り上げるため開催するもの。
2018 北九州国際音楽祭 スタンプラリー	音楽祭有料プログラム会場 音楽祭期間中	音楽祭期間中に3つ以上のコンサートのスタンプを集めた方に抽選で、出演者のサイン色紙などをプレゼントする。来場者の本音楽祭への愛着心を育成するとともに、リピーター増加を目指す。

エ 支援事業

市民企画事業実施に取り組む団体を支援することで、広く市民が音楽に親しむ機会を提供し、地域の音楽文化の振興に寄与することを目的とする。

事業名	場所・時期等	内容等
マラソン・コンサート	響ホール 9月2日(日)	本音楽祭の主会場である響ホールでプロ・アマ問わず演奏することにより、本音楽祭をより身近なもと感じていただくとともに、音楽祭の発展の一助となることを目的とする。

街かどコンサートⅠ・Ⅱ		Ⅰ. 井筒屋クロスロード (日程調整中)	湧き上がる音楽祭の出演者が街かどで演奏する。クラシック音楽を身近に感じその楽しさをより実感してもらうとともに、北九州国際音楽祭への関心を高めること目的とする。
		Ⅱ. ウェルとばた交流広場 9月30日(日)	プロ・アマ問わず出演者を公募し、共にステージを分かち合い、道行く人も含めて音楽の楽しさを共有し理解を深め合う“場”を提供する。
湧き上がる 音楽祭 In 北九州	コンチェルト 演奏会	響ホール 9月2日(日)	若い演奏者へコンチェルト演奏の機会を提供し、その才能を広く紹介するとともに、この舞台経験を生かした活動や今後の飛躍が期待される人材の発掘と育成を目指す。
	オーケストラ 演奏会	戸畑市民会館大ホール 8月12日(日)	新生のオーケストラや、幅広く演奏の機会を求めるオーケストラに、その機会を提供する。
	独創企画 演奏会	北九州芸術劇場小劇場 8月18日(土) 8月24日(金)	従来のコンサートスタイルにとられない斬新な企画・制作・公演運営を担う者(団体)を公募する。地元音楽界のプロデュース力を育成する。
	室内楽演奏会	戸畑市民会館中ホール 8月16日(木)～19日(日)	日頃から研鑽に励む優れた地元演奏家にその実力に相応しいステージを提供して成果を披露していただき、今後の活動の弾みとなるよう支援する。

3 芸術文化情報の収集及び提供事業

地域の芸術文化活動や公演の情報提供を図る。

事業名	場所・時期等	内容等
文化情報誌 『CuiCui・かるかる』の発行	毎月1日発行/8,100部	文化芸術・社会教育施設にまつわる記事と文化施設の催事案内を掲載する。
北九州芸術劇場&響ホール 「情報誌Q」の発行	年4回発行 / 16,000部	北九州芸術劇場・響ホールで行われる公演情報をはじめ、地域文化を紹介。
芸術文化情報センターの運営	北九州芸術劇場内	北九州芸術劇場プレイガイド・インフォメーション、アトライブラリー(アート&エコスペースを含む)、市民ギャラリー、ホームページ等で公演の情報提供等を行う。

北九州芸術劇場&響ホール チケットクラブQ会員制度	—	公演チケットの販売促進等のため、 会員を募集する。 特典：チケットの先行予約、ポイント 積立てによる割引、公演情報 の提供等
------------------------------	---	--

II 芸術文化施設の管理

市内にある芸術文化施設のうち、多目的に使用できる大ホール、演劇専用の中劇場、多機能に使用できる小劇場等を有する北九州芸術劇場、音響効果に優れた音楽専用の響ホール、また、音楽、演劇、舞踊をはじめとする市民の芸術文化活動を支援する場である大手町練習場について、北九州市の指定管理者として管理を実施する。

施設名	主要施設	期間
北九州芸術劇場	大ホール、中劇場、小劇場 芸術文化情報センター（北九州芸術劇場プレイガイド・ インフォメーション、市民ギャラリー、アートライブラリー）	平成26年4月1日 から平成31年3月 31日まで （指定管理）
響ホール	大ホール、リハーサル室、研修室、練習室1・2	
大手町練習場	大練習室、中練習室1・2、小練習室1~8、会議室1~3	

III 市有施設の維持管理

響ホールが入居する北九州市立国際村交流センターについて、建物や設備機器などの維持管理を響ホールの管理運営と一体で行い、市有施設の効率的な維持管理を行う。

施設名	主要施設	期間
国際村交流センター	響ホール、八幡東生涯学習センター、アジア低炭素 化センター、駐車場	平成26年4月1日 から平成31年3月 31日まで （指定管理）

IV 埋蔵文化財の発掘調査研究

北九州市及び民間開発業者などからの委託を受け、埋蔵文化財の発掘調査、研究及び保存等を行い文化の振興に寄与する。

1 埋蔵文化財の発掘調査及び整理

事業名	遺跡名	区分	面積㎡	遺跡の概要
須磨園南原曾根線(朽網東三丁目) 道路改築工事	加治屋敷遺跡	発掘	300	集落跡
横代川河川整備工事	竹下石棺群	発掘	850	集落跡
折尾土地区画整理事業(堀川町) 造成工事	菅原神社遺跡	発掘	1,000	集落跡
徳力けやき公園整備工事	徳力遺跡	発掘	1,728	集落跡

津田区画整理事業	未定	発掘		21,397	集落跡
庁舎等建替え	金田遺跡第3地点	発掘		3,780	城下町跡
折尾総合整備事業	菅原神社遺跡9-1区、9-2区		整理	0	集落跡
「(仮称)平和資料館」建設事業	小倉城御用屋敷跡		整理	0	小倉城跡
共同住宅新築(八幡西区舟町)	黒崎城跡28区		整理	0	宿場町跡
ウィングス鋳物師ビル建設(小倉北区鋳物師町)	鋳物師町遺跡第2地点		整理	0	城下町跡
(仮称)茶屋の原商業施設建築工事	原遺跡第3地点		整理	0	集落跡
共同住宅の建設(小倉南区中貫)	貫・井手ヶ本遺跡第4次調査		整理	0	水田跡
納骨堂建築(小倉南区大字長野)	上長野石棺群		整理	0	集落跡
合 計		発掘 6件	整理 7件	29,055	

2 埋蔵文化財調査報告書の刊行
黒崎城跡28区など 全7冊・7事業

3 埋蔵文化財に関する調査研究
年報及び研究紀要の発刊

4 埋蔵文化財に関する普及活動
埋蔵文化財に関する市民の理解を深める。

事業名	時期・場所等	内容等
市民考古学講座	日時：平成30年5月～ 平成31年3月の奇 数月第4木曜日(全 6回) 13時30分～ 15時30分 場所：埋蔵文化財センター	北九州市内の遺跡・古墳、および出土した土器・石器・埴輪・陶磁器などを用いて、北九州市の原始・古代から中・近世・幕末期までの歴史を考古学の立場から説明する。展示施設や整理作業室を案内する。
こども考古学講座	日時：平成30年4月～ 平成31年3月の 第4日曜日(全7 回) 10時～12時 場所：埋蔵文化財センター	「君も考古学者だ！」をテーマに、北九州市内の遺跡・古墳、および出土した土器・石器・埴輪・陶磁器などを用いて、それらに実際に触れたり、火をおこしたり、鏡やメダイなどの製作を行う。

現地説明会	時期・場所未定	話題性の高い遺跡において、発見された遺構や出土した遺物を、市民を対象に、現地で学芸員が解説しながら見学していただく。
遺跡発掘報告会	日時：平成31年3月3日 (日) 場所：未定	平成30年度に実施した発掘調査のうち、話題性の高い遺跡などを紹介する。
速報展	年3回	最近の調査で出土した埋蔵文化財を展示する。

5 埋蔵文化財センターの維持管理

施設名	主要施設	期間
埋蔵文化財センター	展示室、整理作業室、事務室、収蔵庫	平成30年4月1日から 平成31年3月31日まで

V 地域文化の情報提供

1 北九州市芸術文化情報誌『CulCul・かるかる』の刊行事業

演劇・音楽・埋蔵文化財・文芸・美術・漫画など文化芸術・社会教育施設にまつわる記事と市内文化施設での催事案内をフリーペーパーとして毎月1回定期刊行する。

劇場や音楽ホール、市民センターなどの文化施設をはじめ、市内ホテル、JR・モノレール各駅など合計約320カ所に設置し無料配布する。

また、ホームページなどのデジタルコンテンツも活用し、広域かつ世代間を超えた情報発信を行う。

事業名	時期・部数等	内容等
文化情報誌『CulCul・かるかる』の刊行	毎月1日発行/8,100部	演劇・音楽・埋蔵文化財・文芸・美術・漫画などにまつわる記事と市内文化施設での催事案内を、市民を含む北九州都市圏向けに情報提供。フリーペーパーだけでなく、ホームページでも情報発信する。

2 書籍の販売等

北九州市からの受託を含め、北九州市に関する各種の書籍を市内書店等で販売する。取扱い書籍は次のとおりである。

「北九州市史」(全10巻)、「北九州むかしばなし」「きたきゅう発掘！考古学ノート」「続海峡の風」「火野葦平とゆかりの人びと」「北九州市の野鳥たち」「川が変えたまち」「門司港レトロ物語」「ひろば北九州バックナンバー」

3 文化施設の情報提供事業(ホームページ)

『CulCul・かるかる』に掲載の記事と文化施設の催事情報をタイムラインで情報発信するメディアサイトの管理を行う。

パソコン、スマートフォン、タブレット端末などウィンドウサイズに合わせて自動的にページのデザインを最適化するレスポンシブウェブデザインを起用する。30年4月からはカレンダー機能も追加し掲載件数を増やし、多様な催事情報を提供する。各機関からの情報や、取材などをもとにタイムリーな情報提供を行う。